

マレーシア

(Malaysia)

I 概要

- | | | | |
|---------|-----------------------------|----------------------|-------------------------------|
| 1. 人口 | 2,995 万人 (2013 年, マレーシア統計局) | 5. 1 人当たり国内総生産 (GDP) | 1 万 548 米ドル (名目, 2013 年, IMF) |
| 2. 面積 | 約 33 万平方キロメートル (日本の約 0.9 倍) | 6. 首都 | クアラルンプール |
| 3. 政治体制 | 立憲君主制 (議会制民主主義) | 7. 通貨単位 | リンギット |
| 4. 言語 | マレー語 (国語), 中国語, タミール語, 英語 | | |

《出典》外務省ウェブサイト (<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/malaysia/data.html>) (更新日: 2015 年 9 月 7 日)。

II 教育の普及状況

教育段階	年	在籍率	性別	
			男	女
就学前教育	2013 年	94%
初等教育	''	106%
中等教育	2012 年	71%	73%	69%
高等教育	''	37%	34%	41%

(通常の年齢よりも早い又は遅い入学や留年等を理由とする該当年齢以外の在籍者を含む)

III 教育行政制度

教育行政は、連邦、州、郡の 3 つのレベルに区分されている。連邦レベルでは、学校教育施策の立案・調整等については教育省が、高等教育政策の立案・調整等については高等教育省が所管している。州レベルでは、州教育局が州内での教育計画の実施などに当たっている。郡レベルでは、州教育局の補助機関として郡教育部が設置されている。

IV 学校体系

(学年暦：1月～11月)

1. 就学前教育

就学前教育は、4～5歳児を対象に、幼稚園で行われる。

2. 義務教育

義務教育は、6～12歳の6年である。

3. 初等教育

初等教育は、6歳入学で6年間、国民学校で行われる。マレー語で教育を行う国民学校のほかに、中国語又はインド系のタミール語で教育を行う国民学校があり、これらの学校においてもマレー語が必修教科となっている。卒業者は、国民学校卒業証書が授与される。

4. 中等教育

中等教育は前期と後期に分かれる。

前期中等教育は、3年間、前期中等学校で行われ、卒業者は前期中等学校卒業証書が授与される。中国語やタミール語を教授言語とする国民学校出身の生徒は、通常、教授言語であるマレー語を習得するための課程（1年）を経てから入学する。

後期中等教育は、2年制の後期中等学校及び2年制の中等技術学校で行われる。中等教育修了時には、全国共通試験が実施され、合格者にはマレーシア教育修了証が授与される。

5. 高等教育

高等教育は、大学、カレッジ及びポリテクニクで行われる。

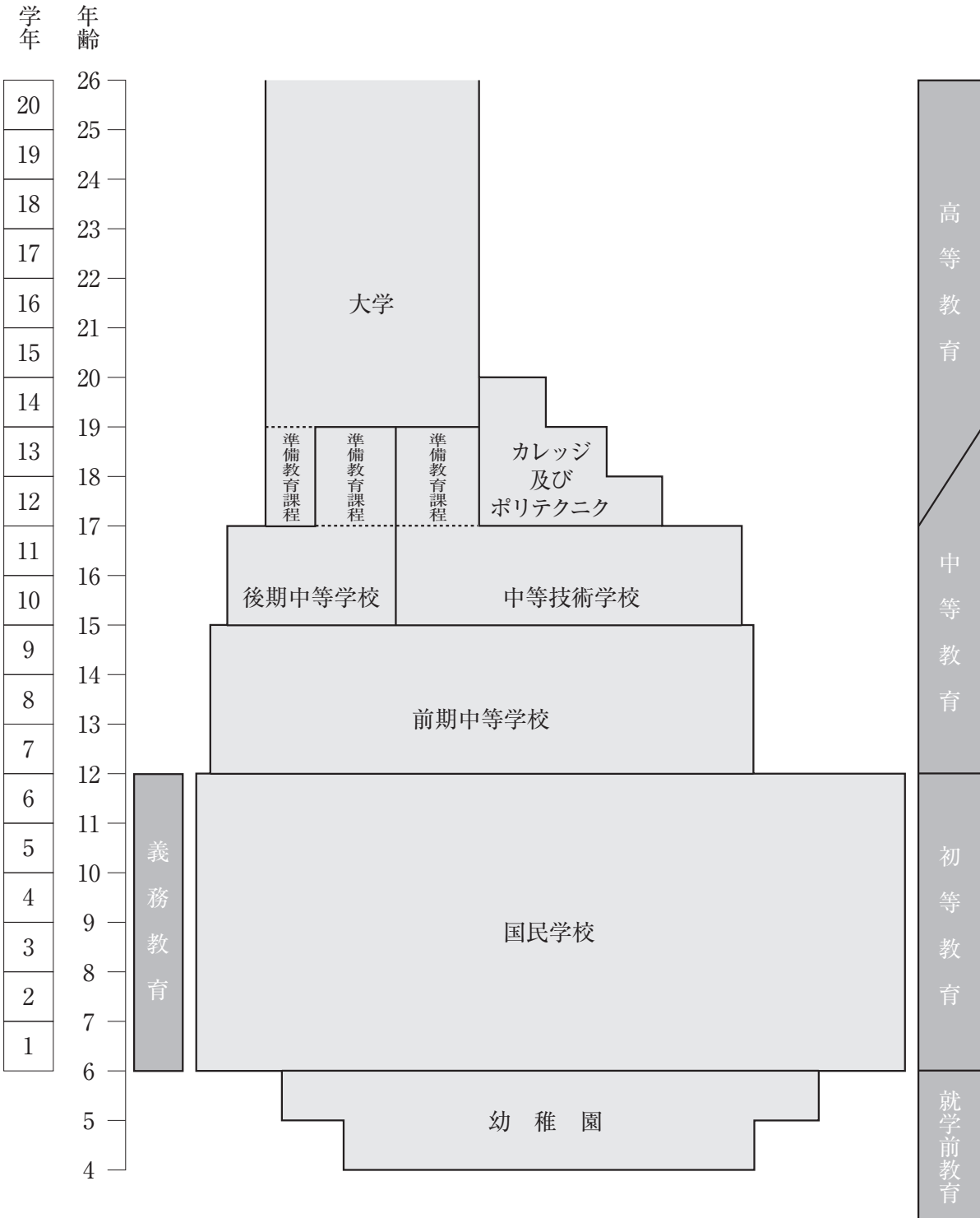
大学への入学に際しては、中等教育修了後の2年間、中等学校又は大学に置かれる2年制の準備教育課程で高度中等学校卒業証取得した者を対象に、各大学の入学者選抜試験が行われる。大学には学士課程（3～5年）のほか、学卒ディプロマ（1年）、修士課程（2年）及び博士課程（3年以上）が置かれている。

カレッジ及びポリテクニクには、中等教育修了者を対象とする技術・職業教育コース（1～3年）が設けられ、卒業者は職業技術資格証やディプロマを授与される。

《参考資料》

- ・ UNESCO World Data on Education, 7th edition, 2010/11.
- ・ マレーシア教育省ウェブサイト (<http://www.moe.gov.my/>) 2016年7月22日閲覧。

V 学校系統図



VI 取得可能な資格・学位

